



西岡恵子議員

ゆとり教育、総合学習の効果

「ゆとり教育」見直しが問題視されているが、これに対する教育長の見解と、本町で行われている地域性を生かした（藍染め体験や地域交流等）総合学習の効果、子供たちの変化については。

実績を上げている

地域に目を向け、郷土に対する愛着をもてる気持ちが出てきている。当分の間は継続していく。

学力向上への取り組み

学力低下が心配されているが、学力向上への具体的な取り組み、また、土曜日や放課後の余裕教室を利用し、民間や地域の人材活用についての検討は。

が、学力向上への具体的な取り組み、また、土曜日や放課後の余裕教室を利用し、民間や地域の人材活用についての検討は。

基礎学力の向上に努める

県の指導をうけながら、学校や保護者のニーズ等を協議し、基礎学力の充実に努めていきたい。また、家庭学習の充実についても呼びかけていきたい。

少子化対策

国を挙げての少子化対策のなか、本町においての施策について、また、子供を産み育てやすい環境づくりは、早急に取り組むべき課題と考えるが、今後の具体的な取り組みについてはいかがか。

行動計画策定

次世代育成支援対策法に基づく、行動計画策定に向け準備を行っている。

学童保育

藍住町放課後健全育成事業（学童保育）は本町の核家族化、共働き世帯の増加傾向のなか、児童の健全育成支援を目的にその整備にも尽力され、大変効果を上げ、保護者からはこの事業に対する期待度も高いと聞き、その実績とこの事業に対する今後の取り組みについては。

平成16年度182名

平成15年度は162名、16年度は182名の登録。指導員には教員免許取得者を配置。今後とも同様のサービスクラスが出来るよう職員配置等にも配慮していく。

ゴミの減量化

ゴミの減量化は循環型社会の構築において、極めて重要な問題であると共に、処理経費の削減も重要。平成16年12月議会では委託業者の変更を検討しているとの答弁であったが、その結果は平成17年度予算に反映出来ているのか。

長期的ゴミ処理の計画を策定

同量のゴミ量で、年間約7,000万円から9,000万円節減出来るかと推定。粗大ゴミ有料化は、循環型社会構築や減量化に有効。不法投棄対策は、現地指導や巡回指導の回数を増やすことで対応。

男女共同参画社会の実現

男女共同参画社会の実現について、平成16年3月議会において、基本計画の策定に向けての調査研究を進めると答弁があったがその後の進展は。また、昨年、民間委託した女性センターとの連携状況については。少子化対策においても、男女ともに仕事、子育てが出来る社会環境整備は大切だと言われている。この事業の今後の取り組みは。

実態調査等参考に計画

委託

基本計画の策定について、協議会を設置すべく計画している。女性センターとの連携は委託により支障をきたしていることはない。

事務事業の民間委託や施設管理運営の指定管理者委託についての基本的考えと今回予定されている児童館の民営化に対する町の姿勢についていかがなものか。指定管理者制度とは「住民のニーズへの対応には民間事業者の能力やノウハウを幅広く活用することが有効と考えられ、住民のサービスの向上と共に経費の削減などを図ることが目的」とされており、今回の指定の手続き、事務的タイムテーブルは。

町の方針、趣旨をしっかり伝え協定し委託する

これからも、条例にのっとった委託の方向で進めて参りたい。



粗大ごみ（西クリーンステーション）